

【複数の予防接種を受ける場合など、渡航に必要な予防接種を完了するために】

ワクチンの種類によっては、期間内に複数回にわたって接種する必要がある場合や、複数のワクチンを接種する場合など、なるべく早く（できるだけ出発まで6ヶ月以上）、担当医師と接種するワクチンの種類と接種日程の相談をしてください。

【受診当日の必要書類】

当院の診察券（お持ちの方）、予約受付票、健康保険証、母子手帳（大人・子ども問わずお持ちの方は必ず持参してください。）

【料金について】

当外来で実施する診療は、全て「私費診療」となります。ワクチン接種の都度、診察料（初診料、再診料）がかかります。診察、検査、証明書作成などワクチン接種のため実施した項目の合算が請求額となります。

▶ 予防内服薬処方【マラリア予防薬（マラロン配合錠、メファキン錠）、高山病予防薬（ダイアモックス錠）】



ワクチンの種類 (一部抜粋)	国内承認ワクチン 接種回数・時期	輸入ワクチン(国内未承認) 接種回数・時期	感染リスクの高い地域
A 型 肝 炎	エイムゲン 初回、2回目（2～4週間後）、3回目（6～12ヶ月後）	Harvrix 初回、2回目（6～12ヶ月後）	南アジア、アフリカ
B 型 肝 炎	ヘプタバックス-II、ピームゲン 初回、2回目（4週間後）、3回目（6～12ヶ月後）	取り扱いがありません	サハラ以南アフリカ、アラスカ、 東南アジア中国、太平洋諸島
狂 犬 病	組織培養不活化狂犬病ワクチン 初回、2回目（4週間後）、3回目（6～12ヶ月後）	Rabipur 初回、2回目（1週間後）、3回目（3～4週間後）	南アジア（特にインド）、アフリカ、中国
破 傷 風	沈降破傷風トキソイドキット「タケダ」 初回、2回目（3～8週間後）、3回目（6～12ヶ月後）	取り扱いがありません	世界中の土壤に分布 （発展途上国はリスクが高い）
日 本 脳 炎	ジェービックV（有効期間4～5年） 初回、2回目（1～4週間後）、3回目（12ヶ月後）	取り扱いがありません	東南アジア、南アジア
髄 膜 炎 菌	メナクトラ筋注（不活化ワクチン） 1回（追加接種の目安：36～60ヶ月後）	取り扱いがありません	サハラ以南アフリカ
腸 チ フ ス	取り扱いがありません	TyphimVi（不活化ワクチン） 初回、2回目（24～36ヶ月後）	南・中央アジア、東南アジア、南アフリカ
麻 し ん	乾燥弱毒生麻しんワクチン 必要に応じて	取り扱いがありません	世界中
3 種 混 合	取り扱いがありません	Tdap Boost rix 必要に応じて	世界中